

No.174

2020. 2. 28



のほな 萩浦

発行 愛知県立豊橋南高等学校 P T A TEL(0532)25-1476 FAX(0532)25-4887
<http://www.toyohashiminami-h.aichi-c.ed.jp/>



大学入試センター試験（豊橋技術科学大学会場）



卒業制作展示（生活デザイン科）



ファッションショー（生活デザイン科）



百人一首大会（1年生）



第34回「高校生の写真展」
優秀賞・特別賞 「一途」 富永実亞



ビュッフェパーティー（生活デザイン科）



第25回全国高校生
クリエイティブコンテスト
クリエイティブ賞 「Flower Garden」 荒島七彩



第25回全国高校生
クリエイティブコンテスト
文化服装学院賞 「こころ」 三輪萌名

写真協力：大森写真館 写真部

卒業生に贈る言葉

旅立ちの日に



PTA副会長 井口直人

皆さん卒業おめでとうございます。今皆さんの胸には、期待と不安、喜び、悲しみ、充実感、寂寥感、きっと様々な感情が渦巻いていることでしょう。なかなか平常心ではいられないかもしれません、少しだけ目を閉じて豊橋南高校で過ごした3年間を振り返ってみて下さい。そしてそこに映っている人たちに、無事に今日、卒業証書授与式を迎えたことをどうか感謝して下さい。

さて、皆さんは今、青春という眩しい季節の真っ只中にいます。高校卒業という節目を迎え、進学、就職など、進む道はそれぞれ違いますが、これから様々な出会いと経験を重ねて大人へと成長していきます。青春はやがて朱夏、太陽がギラギラ輝くような、情熱や生命にあふれる季節となり、一人の人間として自立し、仕事を持ち、恋をして、結婚をして父や母になっていきます。

そんな時の流れのなかで、今まで皆さんの傍にいてくれた家族や先生、友達との関係や距離感も少しづつ変わっていきます。今まで誰かが守ってくれたけれど、試練や困難に自分の力で立ち向かわなければならぬこともあるでしょう。何かにぶつかれば、痛い。激しくぶつかれば傷を負い血が出るかもしれない。傷つきたくないで困難から逃げることは簡単だし、その方が楽だ。でも、本気でぶつかるその痛みを勇気と呼ぶのだと思います。人生において、夢や目標に向かって思い切り自由にチャレンジができるタイミングは、そんなに沢山与えられているわけじゃない。若くしなやかな頭と身体を持っている今だからこそできることが皆さんにはあります。失敗や挫折を恐れず、心を燃やして勇気を持ってそれぞれの世界へ飛び出して行って下さい。

でも本当に傷ついたとき、もう前に進めなくなったときは、目を閉じて今日のことを思い出してほしい。そしてそこに映る大切な人たちがいる場所に、いつでも帰っておいで。

今を生きる

校長 森島 日出夫

高校生の頃に、暗唱した漢詩がある。

少年老い易く 学成り難し
一寸の光陰 軽んずべからず
未だ覚めず 池塘春草の夢
階前の梧葉 已に秋声

当時、表面的な意味は理解できても、その言葉の本当の重さを知ることはなかった。しかし、歳を重ねた今になって、やっと心に迫る言葉となったのである。時を遡ることのできない人生の切なさや尊さを痛いほど思い知らされている。作者については諸説あるようだが、どんな偉人が作ったにせよ、この詩は、人生を達観した賢者の言葉というよりも、青春の日々を浪費や怠惰に終始してしまった者の悔いであり、嘆きであり、魂の叫びに聞こえてならない。若い頃の自分がそうであったように、この詩が今の皆さん的心に響かないかも知れない。しかし、まさに青春真っ只中の皆さんに、どうしても語らずにはいられないである。なぜならば、いまだに一寸の光陰を軽んじてばかりの我が身を、恥ずかしく思うからである。

人生は待ったなし。どのような生き方をしようとも、無情にも時間だけが、ただ過ぎ去っていく。そして、一旦過ぎ去りし時は決して戻ることはないのである。容赦のない事実だが、だからこそ、人生は、厳かで尊いのだと思う。結局、私たちがすべきことは、精一杯「今を生きる」こと、現在に最善を尽くすことだけなのである。もしも、「明日から」とか「いつかは」という思いが心のどこかにあるのならば、それらをきっぱりと捨て去って欲しい。「いつかしよう」と思っているところの「いつか」は決してやってくることはないのである。「明日がある」と思う心、そんな甘えと訣別し、精一杯この瞬間に命を燃やしていただきたい。これが、卒業生の皆さんに対する私の切なる願いであり、同時に自分への戒めの言葉なのである。

3年 学年団の先生方より

人ととの出会い

1組担任 森田麻美

皆さん、卒業おめでとうございます。入学した日から、あつという間の3年間であったと思います。私も皆さんと一緒に学年を上がり、ともに歩んできました。とても濃い毎日で忘れられない日々ばかりです。

これからそれぞれの道に進んでいく中で、ぜひ「縁」というものを大切にしてください。進学先や就職先、バイト先やふとした街角で、これから多くの人と出会うことになるでしょう。ただその時その場所に居合わせただけ、というわけではなく、きっとその人達に影響を受けることもあれば学ぶこと、支えられることがあるでしょう。いろいろな人と出会うことで人は成長していきます。毎日の縁を自分の糧にして、辛くてくじけそうなときも乗り越えていける強い大人になれるといいですね。そして、もちろんこれからだけでなく、これまでに出会った友人、恩師、家族、そしてそのほかの数多くの人のご縁も大切にして、未来へ歩んでいってください。

私も皆さんに出会えたご縁はかけがえのないものだと思っています。皆さんの未来が明るく、幸多きものでありますように。いつも応援しています！

卒業おめでとうございます

1組副担任 河合洋枝

3年間、作品制作や検定に向けた勉強に多くの時間を費やしてきましたね。より良いものを作るために考え、工夫し、納得いくまで制作したり、合格という目標に向かって時間を費やすことのできるみなさんは、この先、どんな困難にぶつかっても“まあいいや”と投げ出さず、自分で切り拓いていける力がついていると思います。何事も諦めず、自分を信じて前進してください。きっとできます！

夢中になれる

1組副担任 安藤沙矢加

ご卒業おめでとうございます。皆さんのこれからは、自分の意思でやりたいことを見つける時が訪れることがあります。さまざまな場所に足を運んで、いろいろなものを見て、たくさんの人に会ってください。全て無駄なことは一つもない信じて動いてみてください。いつか必ず自分が夢中になれることが見つかると思います。応援しています！

凡事徹底（当たり前のことと当たり前に）

2組担任 黒田昭夫

毎朝、自分で起きて朝食をちゃんと食べましたか。自分の足で学校に来ましたか。遅刻・欠席せず毎日元気に登校しましたか。授業に対して予習して臨みましたか。授業時に大きな声で挨拶、返事ができましたか。掃除をしっかりできましたか。部活に一生懸命取り組みましたか。家に帰ってその日の授業の復習をしましたか。

以上の事は高校生として（人として）当たり前のことです。この当たり前のことと手を抜かずしっかり行うことはあなた方が大学生、社会人になっても大変大事なことです。当たり前のことと当たり前に行うばかりでなく、人並み以上に一生懸命行える人間になってほしいと思います。

そつぎよう おめでとう

2組副担任 長谷川国男

そらはあお	だれもかも
つとにみしゆめ (つと=早朝)	いちてんたって
ぎんいろで	すきなやつ
よきたびだちと	きもちよきひと
うれしくおもう	三年二組

自分らしく生きよう

2組副担任 木和田浩史

卒業おめでとう。南高校で22回目の卒業生を送り出すことになりました。個性はその人の持っている特徴であり、それをいい悪いと判断するのは他人の勝手です。ただ、人の意見を聞く耳を持たないと大きな失敗があります。自分で考え行動し、人の意見も聞きながら、自分らしく生きていくのが楽しい人生ではないでしょうか。あなた達の卒業と同時に自分も教員生活の卒業となります。教員生活で関わった多くの人たち(卒業生も)に感謝します。

与えられた環境で咲く

3組担任 近藤祐輔

「A.Iの進化によって、人間の仕事が奪われる」と言われています。かつて人々は科学技術が人を幸福にすると信じ、その発展のために心血を注ぎました。現代の科学技術には、かつて人々が抱いた希望はないように感じられます。

江戸時代の終わりは1868年だそうです。150年後の現在、我々の生活の質は劇的に向上しました。当時と比較して暮らしは100倍豊かになったと言っていいと思います。ところが、我々は彼らの100倍幸福になってはいません。それどころか、彼らの人生のほうが幸福だったのでと思わせるほど、現代の社会には複雑な問題が山積しています。我々がこの150年から学ぶことは、欲望を満たすことでは幸福にはなれないということです。幸せとは「なる」ものではなく既に身の回りに「ある」ものです。他人との比較の中に幸せはありません。もっていなかったものを「もつ」ことも一時の幸福でしかありません。自分の身の周りに既にある幸せを上手に見つけられる、そんな立派な「井の中の蛙」になります。

卒業おめでとう

3組副担任 牧平元康

この1年間、個性豊かな皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございます！南高校での3年間で皆さんも大きく成長したことだと思います。楽しいことばかりではなく、辛いこと、悩むこと也有ったでしょう。そんな時支えてくれたのは、きっと友達や家族だったはず。その人たちとの絆をこれからも大切にしてください。新しい世界で皆さんのが一層輝くことを期待しています。

「感謝。ねでんよらかろしうをじものかなの○」

4組担任 石田桂子

南高47回生の皆さん、卒業おめでとうございます。⑦わべで済ませず、人②してぶつかり、心の声が⑦てしまう時もあった「濃い」2年間でした。⑧でたい門出に、はなむけの言葉を送ります。

⑨もしろく楽しくいましょう。何事も楽しく面白くなるように自分で変えていきましょう。

⑩ごかないものはない。人は過去も変える力を持っています。どう捉えるかは自分で決められます。「⑪かった。今はいい思い出だ。」と言えるように。

⑫ゆっくに包み込むように、自分を、みんなを愛してください。未熟な自分を含め、今の自分があります。理想の自分を含め、未来に向かう力を持っています。

⑬よさは、優しさになる。科目的「政治・経済」ではよりよい社会を築き、幸せになろうとします。あなたが強くなり、みんなを幸せにしていくことを願っています。

⑭それぞれの進む道を幸多くする人であれ。あなたは素敵です。いるだけで人を幸せにする力を持っています。ありがとうございます。

苟日新、日日新、又日新。

4組副担任 伊藤悟良

表題の言葉は、一例として「苟(まこと)に新たにして、日々新たに、又日に新たなり。」と読む。簡単に意味を言えば、「自己を日々新しくし、より良いものにしていく。」というところであろうか。中国古代の王朝「殷」の湯王は、この言葉を毎朝使う洗面器の底に彫り付けて、洗顔の際に目にしては肝に銘じたそうだ。劇的、かつ加速度的に変化する現代社会においても、自己変革の継続こそが実は自己を保つ方策なのだという逆説的な教えを、この言葉から汲み取れまい。自戒としつつ、卒業する君達にも送りたい言葉だ。

ありがとう

5組担任 尾崎優子

47回生のみなさん。ご卒業おめでとう。

みなさんは、久しぶりに3年間一緒に進級できた学年でしたので、卒業にあたり、本当にいろんなことが思い出されます。ともに過ごし、間近でその成長を感じることができたこの3年間は、私にとってとても幸せな時間だったと感じます。ありがとうございます。

まもなく始まる新生活。夢も期待も大きいと思います。でも新しい環境の中、うまくいくこともいかないこともあるでしょう。長い人生の中では、思うようにいかないと感じることの方が多いかかもしれません。でも苦しいことばかりでもないと思うのです。ちょっとのうれしいことに元気と勇気をもらいながら、強く乗り越えていてほしいなと願っています。深呼吸し、笑顔で未来を切り拓いていってください。みなさんの幸せな人生を心から祈っています。

素敵人生を

5組副担任 辻麻衣香

高校の頃、受験を控えた私たちに先生がある言葉を掛けてくれました。「今が一番しんどい。だけど、その今をどれだけ頑張れるか。最後まで諦めず、今を頑張り抜いた者は、必ず今後の人生も頑張れる者だ。がんばれ。」この言葉は当時の私の心に突き刺さり、今でも辛いときによく思い出して奮起しています。本当にその通りだと実感する毎日です。みんながそれぞれ力の限りに、これまで本当に努力し、忍耐強く頑張ってきた姿を私は知っています。だから、今後の人生においても頑張り抜けるみんなであると確信しています。素敵人生を送ってください。心から応援しています。卒業おめでとう♡

大人の卵たちへ

3・4・5組副担任 白井 瑞子

高校を卒業したらすごく変わることって何だろう。それはたぶん「大人」として扱われること。もう学校や家庭で細かいことまで指示されることもないし、自分のやりたいことをやれる。

反面、今までの「子ども」としての甘えが許されない。短い猶予期間の間に自立・自律しなければならない。「大人」って結構大変。

でも、1年間見てきて、きっと皆さんは大丈夫。「大人の卵」に幸あれ！

卒業おめでとう！

6組担任 恩田 稔

「夢は見るものではなく、叶えるもの。掴み取れ。」

私が高校を卒業したときに恩師からいただいた言葉です。「夢に対する覚悟や情熱を持ち、それに向かって諦めずに努力を」という裏のメッセージが込められていたように思います。夢を叶えることは、そう容易いことではありません。私は少々時間がかかってしまいましたが、夢に向かって努力をし続け、今教員として働いています。努力は必ず報われるという言葉の通りです。これから厳しい社会に旅立つ皆さん、今後辛いことや大変なことがあっても、何事も学びやチャレンジ精神を忘れずに努力をして自分の人生を切り開いてください。健闘を祈っています。

卒業おめでとう

6組副担任 加藤 伝智

相手に勝つことがテニス競技の目指すところだと思っていた。したがって上位のプレーヤーとの対戦を嫌い、相手のミスに期待することもしばしばあった。ところが南高校の生徒は「どうぞ、どんなときでも試合に勝とうと、そしてプレッシャーに押しつぶされそうになんでも自分に負けまいと前を向き集中していた。試合後は勝敗に関係なくお互いの健闘をたたえ合い、心から感謝の気持ちを込めて握手をした。相手に勝つことよりも自分に負けない人間を目指すことが人としての成長につながるはずである。これからもフェアプレーで頑張ってください。

ゲノムより多くの思い出を

6・7組副担任 河崎 鈴佳

「ドラえもんは生物か？非生物か？」最初の授業で皆にした質問です。多くの人が非生物だと力説したドラえもんは「道を選ぶということは必ずしも歩きやすい安全な道を選ぶことじゃないんだ」とう言っています。因みに我々ヒトのゲノムは約30億塩基対。新聞に換算すると20万ページ・約15年分に相当します。皆さんの南高校での思い出を綴ると新聞何年分でしょうか？



どんなゴールでも、美しい！

7組担任 藤原一博

マラソンのレースでは、ゴールの様子は人それぞれ。

笑顔いっぱい、ガッツポーズでゴールする選手。

力を出し切り、倒れこむようにゴールする選手。

悔しそうな表情でゴールする選手。

私はどの選手を見ても、とても美しいと思います。

それは、そのレースのために続けてきたそれまでの努力があり、

そして、その道のりを全力で走り切ったからではないでしょうか。

みなさんが駆け抜けってきた3年間。いろいろな姿が見られました。

クラスマッチや文化祭など、行事で笑顔があふれた3年生の姿。

仲間と教え合い、粘り強く問題に取り組む姿。

進路に悩み、担任の先生と真剣に話し合う姿。

遅くまで学習に取り組んだ自習室での姿。

様々な困難にも全力で立ち向かう3年生の姿に、何度も心を打たれしたことでしょう。

みなさん、とても美しかった。

卒業おめでとう！

さあ、これからはそれぞれの場所でのレースです。

頑張って！応援しています！

新たな場所で

7組副担任 鈴木 唯史

47回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そしてこの1年間、学年のお仲間に加えていただき、ありがとうございました。

みなさんそれぞれ、新たな場所で全力で楽しんでください。そして今以上に知識を蓄え、技術を学び、経験を重ね、まずは自分自身が幸せになりますよう。そして周囲を幸せにしてください。

今後の皆さんの活躍を期待し、応援しています。

3年各クラスより

3-1 生デが勝つって…



森田麻美先生

私たち生活デザイン科は3年間クラスが変わりません。これまで振り返ってみると、成長したこと、辛かったこと、楽しかったこと、いろいろなことがあります。

「生デが勝つって噂」と円陣を組みながらも1、2年生では入賞すらできなかった体育祭では、最後に総合優勝河合洋枝先生 安藤沙矢加先生 できました。2年生の夏休み課題、クロスステッチでは終わらない焦りで徹夜を何日もしました。卒業制作では、これ必要？一生やりたくない。寝たい。と言いながらもそれぞれの作品にこだわりを持ち、想いの詰まった作品に仕上げました。最初はミシンの下糸を巻くことすらできなかつた人も、今ではドレスが作れます。きゅううりの半月切りで朝練をしていた人も、コース料理が作れます。居残りばかりで大変なこともあったけど、全てが良い経験で、良い思い出です。

どんな時でも親身になって相談に乗ってくださった生活デザイン科の先生方、2年間担任をしてくださった麻美先生、ありがとうございました。生活デザイン科は、3年間でとても居心地の良い場となり、卒業はとても寂しいですが、それぞれの道に進んでも、仲間と過ごした時間を思い出し頑張りたいです。

3年間生活デザイン科のメンバーと過ごせて楽しかったです。

(3-1 粕谷愛理 イラスト/關 和花子・牧野紗奈)

3-2 青春の1ページ



黒田昭夫先生

長谷川国男先生 木和田浩史先生

この一年は人生においてはたったの一年かもしれません。偶然同じクラスになっただけの39人と担任の黒田先生、副担任の長谷川先生・木和田先生。ですが、3年2組の一員として過ごした1年は青春の1ページとしてみんなの心に刻まれたのではないかと思います。目立ったムードメーカーがいたわけでもないし毎日が楽しいことばかりというわけでもありませでした。その上、全員揃って授業を受けた日数は数えられる程度。こんな毎日でしたが行事では好成績でした。行事で力が發揮できるのもこのクラスの特徴です。文化祭の準備を頑張った人、クラスマッチや体育祭で活躍した人、また受験生として勉強する雰囲気を作った人。クラス内で個々の力が発揮できる、これは3年2組の長所であり誇れる所だと思います。

人生の主人公は自分で。これからどんな道に進み、どんな大人になっていくのでしょうか。数年後、今思い描いている人生とはかけ離れた人生を歩んでいるかもしれません。ですが、同窓会などでこのクラスのみんなと再会した時、自分の力で道を切り開き、夢を叶え、また新たな夢へと進みながらそれぞれの人生の物語を紡いでいけていたらしいなと思います。黒田先生が送って下さった2020年の初日の出の写真はいつまでも私たちの背中を押してくれることでしょう。またつか、お元気で!!

(3-2 大谷采未 イラスト/末廣朱里)

3-3 永却回帰



近藤祐輔先生

牧平元康先生

一年間を振り返る時期となりました。文化祭のビデオ、あえてたませんを選んだこと、授業中に飛び交うギャグ、日常のささいな会話…破天荒で充実した毎日が本当に楽しく笑いの絶えない日々でした。もちろん楽しいばかりではなく、特にこの一年は将来への不安と葛藤があり、大きな山場だったと思います。しかし、やるべきことは最後までやり通す責任感のある姿、数分をも惜しみ努力し続けるクラスメイトの姿に、自分も頑張らなければと何度も刺激を受けました。また、うまくいかない時に、友達のかけてくれた温かい言葉の一つ一つに助けられ、原動力となりました。

長いようであつという間の三年間でした。学校生活、部活動などを通じて、達成感を味わったり、努力とは裏腹に結果を出せずに悔しい思いをしたり、成功からも失敗からも多くを学び、勉強以外にも大切なものがあるということを実感したと思います。

普段は無邪気ですが時には厳しいアドバイスで進路を導いてくださった近藤先生、授業中面白いエピソードで笑わせてくれた牧平先生、クラスの皆さんに感謝でいっぱいです。これからはそれぞれが全く新しい環境へ進みます。社会へ出てどんな困難があっても、良い意味で変わらない姿で強い志を持ってみたいと思います。また、元気に再会しましょう！ありがとうございました！

(3-3 石川真有 イラスト/石川真有)

3-4 ありがとう。



伊藤悟良先生

石田桂子先生

3年4組は男子16人女子24人の独立しながらも協力しあい、何事にも本気になり活気あるクラスです。この言葉の通りクラスマッチでは、昼放課に毎日練習して作戦を立てたりやる前から本気で取り組んでいました。当日は三冠を達成するも、総合2位でした。石田桂子先生でしたが三冠獲れた事を誇りに思います。

文化祭では、けいこちゃん（桂子先生）と利益を考えた「ケイコリアンタウン」。当日に、お皿が足りなくなったり、火が消えてしまいお客様を待たせてしまいました。ですが、男子の有志達が“タイツマン”で他のクラスとは違う企画を用意してくれたおかげで待たせてしまったお客様も笑顔になり全員で助け合いながら大盛況に終えることができました。この企画は語り継がれていくのではないかと思います。体育祭では最後の行事を全力で楽しむ4組の姿が、とても印象的でした。

どんなことにも一生懸命に取り組めたのは、けいこちゃん（桂子先生）が「高校生の時にしかできないことを全力で楽しんで！」と言ってくださったことや、悟良先生が私達の活動を影ながらサポートしてくださいましたからだと思います。

最後の1年を4組で過ごす事ができたさんの思い出を築けました。これからも人生を謳歌し、また笑顔で再会しましょう。クラスのみんな、先生方、本当にありがとうございました！

(3-4 朝倉明日美 イラスト/堀部結愛)

3-5 楽しい日々



尾崎優子先生 辻 麻衣香先生

3年5組はみんな明るく、元気いっぱいのクラスです。時に優しく時に厳しく私たちの相談を親身に聞いて下さった担任の尾崎先生、いつも可愛い笑顔で私たちを癒してくれた副担任の辻先生。その他多くの先生方に支えながらこの一年を過ごしてきました。

5組は男女関係なく仲の良い人が多く、教室はいつも賑やかで活気にあふれていました。体育祭では自分のクラスの子がでている種目をみんなが積極的に応援をしていました。試合をしている子も応援している子も一生懸命で総合2位という結果を残すことができました。文化祭ではフルーツポンチと白玉を販売しました。「ゆうことまいかと子分のもち×2白玉パラダイス」というユニークなネーミングは他のクラスにも評判が良かったです。クラスのみんなで役割分担をして協力し合い、夏休みから当日まで一致団結してがんばった結果、大盛況でどちらも完売することができました。ジュースやフルーツが足りなくなってトラブルも多少ありましたが、先生方の協力もあり、見事大成功で文化祭を終えることができました。この一年間5組で過ごした時間はどれも大切で楽しい思い出ばかりです。いつでも賑やかで楽しいクラスで毎日学校に行くのがとても楽しかったです。クラスのみんな、先生方に感謝しかありません。本当にありがとうございました。

(3-5 青木 麗 イラスト/大場友麻)

3-6

未来に向かって



加藤伝智先生 河崎鈴佳先生

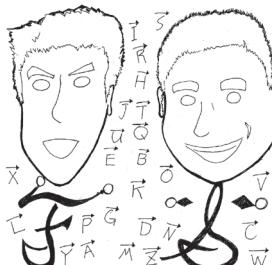
恩田 稔先生

男子25人女子14人の3年6組は、毎日笑い声の絶えない明るいクラスです。場を盛り上げることのできる人が多く、自然と周りまで楽しい雰囲気が伝わります。文化祭ではたくさんの不安があったものの、多くの人が意見を出し、自分の役割以外のところも参加し、楽しく納得のいく出し物ができました。大勢でたくさん並べた机の上でパインを詰めたことや、コツを掴むまで苦労した綿菓子作りは、このクラスだからこそできた良い思い出です。また、授業でのグループワークでは活発に話し合いが行われ、放課には教科書を持ち、クラスメイトに質問しに行く人の姿を多く見ます。楽しむところは全力で楽しみ、勉強するときには勉強をするモードに切り替えることができるクラスだと思います。一人一人の受験にクラス全体で臨む雰囲気は、「受験は団体戦」という言葉がいかに大切であるかを実感することができました。そして、私たちの進路実現のために、担任の恩田先生は、資料をたくさん用意して下さり、副担任の伝智先生は経験をもとに多くのアドバイスをしてくださいました。私たちはこれから南高校で学んだことを活かし、さらに成長していくはずです。将来再び笑顔で会えることを楽しみにしています。ありがとうございました。

(3-6 北谷羽奏 イラスト/田中野花)

3-7

団体戦



藤原一博先生

鈴木唯史先生

いました。

このクラスは雰囲気をつくるのが上手な人が多いと感じます。遠足やレクリエーションは全力で楽しみ、クラスマッチや体育祭では個人の頑張りがクラスの力になり、入賞まではいかないものの、納得のいく結果を出すことができました。また文化祭ではチュロスを販売しました。自分のすべき事を見極めて準備をする人がたくさんいて、当日もスムーズにチュロスを売ることができました。そして受験に向けて授業後に仲間と教え合ったり、スキマ時間を利用して努力したりする姿をよく見かけ、クラスで受験に臨む雰囲気が印象的でした。センター試験当日に藤原先生からの激励の品、濃さが「F」の鉛筆で笑顔になる人も多くいたのではないでしょうか。

この一年間、クラスで成長できたことは山ほどあります。どれも大切な宝物です。南高校での学びを生かして、また一回り成長した姿で将来笑顔でみんなに会えるのを楽しみにしています。ありがとうございました！

(3-7 伴 百合 イラスト/酒井馨一朗)

推薦入試 合格体験記

努力の先に

愛知県立大学

僕は、2年生の後期に推薦入試を受けることに決めました。そこから何度も授業後に個別に先生方から御指導してもらいました。その過程で僕の将来像が見えてきて、自分の歩みみたい道がはっきりしました。それでも先生方の厳しいご指導に投げ出しそうになってしまったこともあります。しかし、そんなときも自分の勉強への妥協は一切することなく、何度も何度も合格するために努力を続けてきました。小論文や志望理由書、面接の練習も数をこなして、本番に向けて最善を尽くして臨みました。試験は落ちたと思いましたが、今までの努力を信じて合格することができました。努力を続けていくことは辛く、途中でやめてしまいたくなることもあると思いますが、合格するまで、合格した後も、自分の目標に向かって走り続けることが大切だと思います。

合格体験記

3-7 池田 拓史

豊橋技術科学大学

僕は高校入学当初から、将来の夢がはっきりと決まっていました。その夢の実現のために、普段の勉強だけでなく、部活動など様々なことに全力で取り組んできました。

本格的に入試の準備を始めたのは3年生の夏休みでした。

小論文や面接など、初めは全然うまくいきませんでしたが、先生方の厳しい指導を何度も受けているうちに、少しずつできるようになっていきました。そのおかげで、本番では小論文では今まで一番良い文章を書くことができ、また面接では面接官とのやりとりが楽しく感じられるほど落ち着いて自分の考えを述べることができました。

この合格までの道のりを通して、夢を叶えるためには努力は惜しまないこと、勇気を持って挑戦すること、そしてチャンスは絶対に逃さないことが大切だとわかりました。これからの大学生活でも夢の実現のために努力と挑戦を続けていきたいと思います。

さよなら留学生



こんにちは。私はアリカです。私はオーストリアへからきました。
私はごかげつまえにみんなこうこうにやっこきました。
私は日本のがっこうせいかつと日本のぶんかをたくさんまねびました。
私はびじゅつのぶつかつにはりりました。
みんなはとても大きくなりました。
私はとても日本のじかんかたのしかつをしています。
まことにありがとうございます。

社会体験発表会

2-5 藤井 歩優

1月27日、2年生が体験したジョブシャドウイングや教育コースの1・2年生の活動、そしてのはなの活動についての発表会が行われました。私は、教育コースが体験した小学校ジョブシャドウイングについて発表しました。自分たちの活動を振り返るとともに、皆さんの発表を聞いて、それぞれの活動で学んだことを共有し合うことができたのでとても充実した会になったと思います。この活動を生かして、皆それぞれの将来に向けて、今からできることを探していければよいと思います。

主権者教育（租税）を通して

1-5 斎藤涼葉

租税教室のテーマは「公平な税制を考えてみよう」でした。

そもそも税制の意味すら知らなかった私にとって、徴税する側に立つのは新鮮でした。市民は一人一人所得が違うので、税が一定では低所得者ほど負担が大きくなってしまいます。しかし、高所得者だけが多く負担するのも不公平です。消費税が上がると私たちは文句を言うけれど、徴税する側も大変なのだと知りました。

これからは、様々な立場で考えながら税と向き合いたいです。

教育コース(EDU 1)の活動について

1-5 教育コース 牧原慧

1年生の教育コースの活動は、東北スタディツアーやミナクル夏休み教室、小学校でのあいさつ運動などがありました。これらの活動では「人との出会い」がとても多くありました。東北スタディツアーやでは実際に被災地に行き、震災の恐ろしさを学びました。今年度は、民泊があり、地域の方々と多くの会話をことができ、交流をより深めることができました。ミナクル夏休み教室では、小学生の宿題の手伝いをし、教えることの難しさを感じました。うまく教えることができずに戸惑ってしまうこともあったけれど、同じ教育コースの仲間と協力することで少しでも分かりやすく教えることができました。上手く教えることができたときは、とても達成感がありました。小学校でのあいさつ運動では、最初はあまり挨拶を返してもらえなかっただけで、目線を合わせたりするなどの工夫をすることで、多くの児童たちが挨拶を返してくれるようになりました、とても嬉しかったです。来年は小学校ジョブシャドウイングや台湾修学旅行など、人と関わる活動が多く行われます。1つ1つの活動を大切にし、教員になるという将来の夢の実現に少しでも近づくことができるよう頑張っていきたいです。



旅行など、人と関わる活動が多く行われます。1つ1つの活動を大切にし、教員になるという将来の夢の実現に少しでも近づくことができるよう頑張っていきたいです。

高校生のための仕事学

1-2 朝倉実紅

12月6日、様々な分野で御活躍されている方々を講師としてお招きし、仕事内容ややりがいなど自身の体験と想いを基にお話ししていただきました。講師の方のお話を聞いて、どの職業においても戸惑うことが多くあると知り、臨機応变な対応を身に付けることや様々な体験をして知識を得ることなど、今の自分に必要なことが山ほどあるのだと実感させられました。そして、今後の人生が左右される大学選びでは、自分が社会に出て何がしたいのか、何を大学で学びたいのか、明確な目的を持って選びたいと思いました。講師の方々は皆、熱意と誇りを持って仕事をなさっていることがお話を聞いている中で伝わってきました。自分もその様になれるよう努力していきたいと思います。

No.	分野	講師名	プロフィール
1	教育	森島 日出夫	本校校長
2	公務員	松浦 弘樹	豊橋市役所人事課
3	医療	山田 百合	緑が丘こども園看護師（元ハートセンター看護師）
4	医療技術	赤川 佳寛	豊川市民病院 放射線技師
5	デザイン・アート	清水 夏樹	株式会社たきC1
6	情報通信業	川戸 麻菜美	豊橋ケーブルネットワーク株式会社
7	福祉	山下 祐司	NPO法人コネクトネット
8	幼児教育	南 恵	豊橋ハートセンター託児所スマイルハート 保育士
9	接客業	大木 伸浩	株式会社大木家 代表取締役社長
10	工学系技術者	市川 正文	本多電子株式会社
11	消防	小川 知也	豊橋市消防本部総務課

図書館フェスティバル

図書研修部 丸山敬彦

12月23日（月）終業式の日の午後、本校図書館で第3回の「図書館フェスティバル」が開催されました。



当日は、写真部・美術部・イラストアニメ同好会による展示と、2年7組加藤僚（あきら）くんのヨーヨー、音楽部による合唱、吹奏楽部によるソロ・アンサンブルが演奏されました。特に今年は、世界を舞台に活躍する加藤僚くんのヨーヨーの演技を間近で鑑賞できるため、多くの人に来場してもらいました。

図書館から文化を発信することができ、感謝しています。

生活デザイン科卒業制作発表会

卒業制作発表－作品展示－

3-1 早川真由

私は卒業制作で、民族衣装を着た子どものタペストリーを作りました。毎日少しづつ作業を進め、自分で納得のいく作品を作ることができました。作品展示では、保護者や先生方、生徒など多くの人に、私たちが3年間生活デザイン科で学んできた成果を見てもらうことができ、とても嬉しかったです。どの作品も38人それぞれの個性が表れており、とてもいい卒業制作発表会となりました。

ピュッフェパーティー

3-1 柴田結那

私たちはピュッフェパーティーを成功させるために、みんなで試作し、意見を出し合い、納得できる料理を出せるよう頑張りました。2年前は、きゅうりの半月切りすらできなかった私たちが、フルコースを作れるようになったことに自分自身の大きな成長を感じることができました。本番ではファッションコースの子たちやたくさんの先生方に「おいしかった。」と言ってもらえて、頑張ってきてよかったと思いました。3年間で磨き上げた技術をこれからも活かしていきたいです。

ファッションショー～Merveill（素晴らしいもの）～ 3-1 小久保美々

集大成であるファッションショーを最高のものにしたいという思いでテーマを決め、今まで頑張ってきました。制作の進みが遅く、本番に間に合うか不安でしたが、ファッションコースのみんなで協力したり、先生方に助けていただきたりして本番を迎えることができました。見に来てくれた方々に感動を与え、3年間の成長を見ていただけたら嬉しいです。18人でファッションショーに出られたことが私にとって高校生活での最高の思い出となりました。支えてくれている方への感謝の気持ちを忘れず、これからも頑張ります。



がんばってます！部活動紹介



剣道部



部長 2-5 林 悠斗

私たち剣道部は、団体戦での県大会出場を目標として日々の稽古に取り組んでいます。男子9名、女子3名の計12名で活動しており、1人1人が選手である自覚を持ち、大会に向けて自身の課題を見つけ出しています。毎週金曜日には外部講師の先生をお呼びし、普段より一層レベルの高い稽古を行うことができます。部内での練習だけでなく、練習試合や合同稽古会にも参加し、様々な高校と練習することにより実際の試合で活躍できるように経験を積んでいます。来年度の大会で結果を残せられるように頑張りたいと思います。



吹奏楽部

部長 2-2 中川麻衣

私たち吹奏楽部は、顧問の先生方の指導のもと活動しています。部室では、いつも部員の楽しそうな笑い声や様々な楽器を奏でる音が聞こえてきたりして毎日楽しいです。主な活動内容は7月に開催される吹奏楽コンクール、12月・2月に行われるアンサンブルコンテストです。1人1人自分達の目標に向かって努力を惜しまず頑張っています。その他にも他校との合同演奏や校外での演奏、学校行事などでたくさんの曲を演奏できる機会もあってとても充実しています。これからも皆さん的心に響く演奏を心がけて頑張ります。



次号は、水泳部と自然科学委員会を紹介します

部活動結果

【運動・その他の大会】

■バスケットボール

愛知県高等学校新人体育大会東三河支部予選会

- 男子
1回戦 本校 77-53 蒲郡東
2回戦 本校 67-82 小坂井
- 女子
1回戦 本校 45-49 国府

■ハンドボール

全三河1年生大会

- 男子
本校 15-26 豊田南
本校 15-23 西尾 予選リーグ敗退
- 女子
本校 19-6 安城
本校 14-19 安城学園
準々決勝 本校 11-23 豊橋商業

■バレーボール

東三河高校バレーボール選手権大会

- 男子 本校 0-2 桜丘
本校 0-2 豊橋東
本校 0-2 豊橋工業
- 女子 本校 0-2 豊橋中央
本校 0-2 湿美農業
本校 2-0 豊橋工業
Bリーグ3位

■陸上競技

2019 愛知陸協駅伝競走大会

- | | 時間順位 | (区) | 順位 | (総合) |
|----------------|-----------------|-----|----|------------|
| 1区 (6 km) 白井花乃 | 23' 33" | | 3位 | 3位 |
| 2区 (3 km) 中川紗弥 | 11' 29" | | 3位 | 3位 |
| 3区 (3 km) 櫻本加枝 | 11' 40" | | 2位 | 2位 |
| 4区 (3 km) 坂部円香 | 11' 51" 58' 33" | 第2位 | 3位 | 2位 (12チーム) |

第52回全三河駅伝競走大会

- 女子
1区 白井花乃
2区 中川紗弥
3区 櫻本加枝
4区 河合風南
5区 坂部円香 第3位 (26チーム中)

2020 ジュニア室内陸上競技大阪大会

- 女子
60mH 西川 知沙 B決勝 7位

渥美半島駅伝競走大会

女子	区間	氏名	順位(区)	順位(総合)
	1区 (2.7 km)	櫻本加枝	11位	11位
	2区 (4.5 km)	坂部円香	11位	10位
	3区 (3.5 km)	中川紗弥	3位	9位
	4区 (6.6 km)	白井花乃	15位	11位
	5区 (3.4 km)	鈴木優麻	11位	11位
	総合	10位 (21チーム)		

■バトミントン

第55回愛知県高等学校学年別大会

- 女子
2年ダブルス
ペスト32 白井涼花・森山幸咲
1年ダブルス
ペスト32 田中麻央・牧野桜矢

第17回 遠州・東三河高等学校対抗バトミントン選手権大会

- 男子 トーナメント
本校 3-0 オイスカ
本校 0-3 豊川
本校 0-3 浜松大平台
本校 3-2 桜丘 第7位
- 女子
予選リーグ 本校 2-0 浜松聖星
本校 2-0 磐田北
1位トーナメント
本校 3-1 浜松市立
本校 3-2 豊川
本校 0-3 常葉菊川 第2位

【文化部・同好会の活動】

■美術

- ##### 第11回DUOはじめての油絵コンテスト
- | 優秀賞 | 1年 大河麻由、齋藤涼葉 |
|-----|-----------------------------|
| 佳作 | 1年 杉浦千尋 |
| 入選 | 1年 岩井綺良、伊藤美桜、吉田 桜、新井七海、池内美峰 |

■吹奏楽

愛知県吹奏楽連盟東三河地区アンサンブルコンテスト

サクソフォン四重奏	金賞
金管六重奏	銀賞
クラリネット三重奏	銀賞
フルート四重奏	銀賞

愛知県吹奏楽連盟東三河地区個人・重奏コンテスト

アルトサックス独奏	齋藤智美	金賞
フルート独奏	今泉 愛	銀賞
トランペット独奏	山本あい花	銀賞
打楽器四重奏		金賞
金管八重奏		銀賞
クラリネット四重奏		銅賞

■演劇部

東三河高等学校演劇合同発表会

「また明日」創作脚本賞

■写真部

第31回「高校生の写真展」東三河支部

出品 豊橋市民文化会館

奨励賞 2年 柳瀬美結「風雅」

2年 富永実亜「一途」

東愛知新聞 12月24日 掲載

高校生が撮影するオリパラ

2年 富永実亜、谷川陽愛、柳瀬美結

1年 福井ひづる、鈴木里菜 他

第34回「高校生の写真展」愛知県

出品 名古屋市民ギャラリー栄

優秀賞

(2020年度 全国高等学校総合文化祭・県アートフェスティバル出品)

特別賞 2年 富永実亜「一途」

2020年度第5回東海地区高校生フォトコンテスト

優秀賞 2年 伊藤用ヤッター 跳ったー ちょっと待ったー」

佳 作 2年 前田萌衣「愉悦」

2年 谷川陽愛「建設中」

高校生が見た豊橋鬼祭

福井ひづる、鈴木里奈、井上李子、浅井千夏撮影

■ボランティアグループ のはな

令和元年度豊橋市社会福祉大賞

【生活デザイン科の活動】

第25回全国高校生クリエイティヴコンテスト

クリエイティブ賞 荒島七彩

文化服装学院賞 三輪萌名

【その他の活動】

豊橋市社会福祉協議会会長賞 鳥居愛梨咲

税に関する作文

豊橋税務署長賞 1年 斎藤涼葉、舟橋 寿

学校賞

西川知沙 陸上競技部
2年連続全国高校総体出場
全国選抜、国体、日本選手権出場